

平成 29 年度 (横浜国際) 不祥事ゼロプログラム実施状況

○項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守の意識	法令遵守の意識の向上	○公務員としての自覚を持ち、公共の利益の増進を目指した職務を遂行するように研修会を開催し、周知した。
個人情報保護	個人情報保護の管理徹底	○個人情報の取扱いについての規則遵守を徹底し、個人情報収集については最低限の人数に限定し、生徒・保護者の承諾をとった。
生徒指導・ハラスメント	スクールセクハラの未然防止	○SNSの利用の仕方や危険性を生徒に周知して、生徒からの相談に対しては、守秘義務を徹底した。
体罰・不適切指導	体罰・不適切指導の未然防止	○体罰・不適切な指導について研修会を開催し、生徒に対して人権に配慮した適切な指導を行った。
定期試験、成績処理業務	正確な試験作成及び成績処理	○定期試験の作成及び成績処理については必ず複数で確認し、適切な作成・処理を行うことができた。
調査書等進路関係業務	調査書及び進路関係業務の確実な処理	○調査書発行業務は組織的な点検体制を整え正確に発行できた。大学入試業務については、最

		新情報を正確に把握し、職員全体で情報共有を図る必要がある。
入学者選抜業務	入学者選抜業務の正確な処理及び事故防止の徹底	○採点システムが変更されて2年目となり、研修を通してシステムの流れを十分に理解し、正確な業務を行うことができた。
会計処理業務	公費私費会計の正確な処理	○会計処理の研修会を開催し、会計業務を正確に行うことができた。
交通事故及び酒気帯び運転の防止	交通事故の未然防止、酒気帯び運転の厳禁	○年末年始を中心に交通事故・交通違反・酒気帯び運転防止のための研修会を開催し、注意喚起を行った。

○平成 29 年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成 30 年度に取り組むべき課題（学  
校長意見）

・不祥事ゼロプログラムについては、定例の職員会議でテーマを絞って不祥事防止会議を開催して、全体的には、職員に対して公務員としての自覚を持った対応ができるように周知をすることができている。平成 30 年度に取り組むべき課題は、進路指導である。大学入試の方法が多岐に渡っており、最新の正確な情報を把握し、職員全体で理解した上での指導を進める必要がある。